

一般質問

★自主防災組織について①町内の組織率及び活動事例と、その広報は。

組織率は83・1%で、昨年度県の避難力強化推進モデル事業を受け、上田宗寺自主防災組織が行った、危険箇所点検や確認をして防災マップや避難経路等書き込んだ避難カードを作成した事例があり、今後は広報活動に取り組みます。

②今後の支援や対策は。

自主防災組織が十分機能するため、平常時より地域の災害を考え、訓練することが大切で、①の取り組みを普及したいと思えます。

災害時の避難支援や安否確認、災害時要援護者の確認など、地域防災の中核として地元消防団との連携・協力を図ることも大切と考えます。

★安全対策について①主要道路や通学路、町民が多数集まる場所や教育施設に防犯カメラの新設や拡充予定は。

現在奥津小学校通学路や鏡野中学校、夢広場等に設置しています。新設や拡充は状況を見ながら

検討します。

②折り畳み式ヘルメットの導入の検討を。

組み立てから折り畳みまで簡単に保護帽規格「飛来・落下物」として国家検定に合格したものが、防災用として活用されています。導入は他の自治体の取り組み状況も参考にしますが、各家庭で非常時の備えとしても有効だと思います。

★災害時の対応について①避難所で提供される物資や保管の管理体制は。

平成29年4月1日現在の備蓄状況は、食糧1,998食、毛布600枚、2L入りペットボトルの保存水972本を危機管理センター防災倉庫に保管しています。

物資調達は、株式会社プラント等と締結の「災害時における生活物資調達等に関する協定書」に基づき協力要請をします。

②今後の防災対策は。

今年度中を目標に土砂災害をテーマとした防災講演会の準備を進めています。

③重機建設機械等を扱うリース業者との連携予定は。

鏡野町災害時緊急対策支援協会と締結した「大規模災害時における緊急対策支援業務に関する協定書」に基づき、建設資機材及び労力について災害時の緊急対策業務の支援で対応します。

★永続地帯をまちづくりの核として活かしては①積極的なアピールを内外へ。

エネルギー自給率、食料自給率共に100%を超える「永続地帯」である市町村が全国に39あり、町は再生可能エネルギー自給率11・8%、食料自給率146・5%で、この39市町村に入っています。町単独より、広く国の視点からアピールする方が良いと思います。

②エネルギー政策を通して、地域経済を活性化する視点は。

高齢化で農地・林地が荒廃する中、地元資本の再生エネルギー開発を行うことができれば、地域の雇用を生み出せますが、国の政策などの動向も見極めていく必要があります。

③公共用拠点施設整備基金条例に関して環境の視点を入れ新設・改築を。

施設の改築・改修は、自然環境エネルギーの活用、高気密、高断熱による長寿命化、ランニングコストの削減等に配慮した計画を現在でも行っています。

④環境教育でも活用を。

町を愛する心を持つてもらうため、「わたしたちの鏡野町」という社会科学副読本を小学校3・4年で使用し、ダムの機能では貯水、治水、発電を紹介し、ごみ処理施設のクリーンセンターへは見学に行き、自分たちのごみがどのように処理され、ごみ焼却で発生する熱を利用した発電等も学んでいます。

★ヘルプカードとヘルプマークの導入と広報を。

導入には前向きで、近隣市町村と統一した方がより効果を生むと考え、7月に導入した真庭市を参考として、津山市・美咲町・久米南町と一緒に検討会議を開催する運びです。導入の際は積極的かつ効果的な広報活動に努めます。

★予算編成過程への住民参加の場の設定を。

編成過程で施策評価の資料として、町民アンケート調査結果、関係者への聞き取り調査、有識者の外部評価も使用します。町経営会議で検討し、重点施策等を決定するため、幅広く町民の方々のご意見、要望を取り入れます。説明会やパブリックコメント等は予定していません。

★こどもの貧困について①貧困率の近年の動向は。

厚生労働省が昭和60年から3年ごとに公表している「国民生

活基礎調査」では、最悪の年は平成24年の16・3%で、平成27年は13・9%です。

②認定の方法と現状は。

国の貧困線(等価可処分所得の中央値の50%で平成27年度は122万円)以下の所得で暮らす相対的貧困にある17歳以下の子供の存在及び生活状況を言い、認定によって決定されません。町はこの定義に基づく調査を行っていないため算出できません。

③虐待・いじめ等の動向は。

貧困を要因とする虐待・いじめはありません。

④担当部署と支援制度は

保健福祉課ですが、施策の推進は学校教育課との連携です。支援は生活保護や児童扶養手当、医療費助成、母子寡婦福祉資金貸付等既存の制度です。就学援助は、要件に該当する保護者に学用品、修学旅行、学校給食費、医療費等の援助を行っています。

⑤どのようなサポートをしているか。

美作県民局の自立支援員が家庭のさまざまな悩み事や、貸付等の問題解決の手伝いをしていきます。

学校では健康状態・生活態度等の身体面や行動面等、日常の様子を注意深く見守り、速やかな対応を教職員で取り組んでいます。